

令和7年度第78回北海道高等学校サッカー選手権大会
兼 全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会 室蘭支部予選会

開 催 要 項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 令和7年度第78回北海道高等学校サッカー選手権大会
兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会 室蘭支部予選会
- 3 主 催 北海道高等学校体育連盟室蘭支部 苫小牧地区サッカー協会
- 4 主 管 北海道苫小牧工業高等学校
- 5 当 番 校 北海道苫小牧工業高等学校 〒053-0035 北海道苫小牧市字高丘6番地の22
T E L 0144-36-3161 F A X 0144-36-3166
- 6 競 技 日 程 令和7年5月20日（火）～23日（金）4日間
20日（火） 10:00 競技開始 1回戦
21日（水） 11:00 競技開始 2回戦
22日（木） 13:00 競技開始 準決勝
23日（金） 13:00 競技開始 決 勝
- 7 会 場 T O M A S E I フットボールフィールド＜苫小牧市清水町3丁目3番26号＞
- 8 参 加 資 格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本競技専門部に登録し、本競技実施要項により大会参加の資格を得たものに限る。
(3) 2025年度（公財）日本サッカー協会に登録を完了したものとする。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意思のある者。
(5) 年齢は、平成18年（2006）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での競技出場は1回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。）
大会参加資格を満たし日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(6) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9) 転校後6カ月未満のもの（支部大会日起算）は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
(10) 各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼り付けのないものは無効とする。（選手証とは、K I C K O F F から出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやP C等の画面に表示したものを示す。）

(11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(12) 参加資格の特例

ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、本競技実施要項により大会参加資格を満たした生徒について、別に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

1 学校教育法72条、第115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。

また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ全道大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしながらとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 9 チーム編成 (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名)及び選手(25名以内)とする。
- (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場できるのは2名以内とする。

- 10 競技規則 (1) 2025年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、5名まで主審の許可を得て交代することができる。
- (3) 交代回数の制限について
- ア 選手交代は、3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能。)
- イ 延長戦において、その直前の70分間の交代人数および交代回数と合わせて、最大6名かつ合計4回(ただしハーフタイム、延長戦開始前および延長戦のハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない)までの選手交代を行うことができる。加えて延長戦開始前および延長戦のハーフタイムにも交代することができ、交代回数にカウントされない。
- ウ 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。
- ① 本校に基づく交代は、前項に定める交代人数及び交代回数に含まれない。
- ただし、人数は1名に限るものとする。

- ② 本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳震盪に限らず) いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。

(4) 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。

ア 本校に基づく交代は、前項に定める交代人数及び交代回数に含まれない。

ただし、人数は1名に限るものとする。

イ 本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳震盪に限らず) いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。

(5) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会に規律委員会で決定する。

(6) 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。

(7) ユニフォームについて

ア シャツの全面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。

ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から25番までの番号とする。) 副ユニフォームについても同様である。

イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)

ウ 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。

エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。

オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。

カ キャプテンアームバンドについては、主催者によって認められたアームバンドのみが認められ、主催者によって認められたアームバンドを着用する場合はユニフォーム規定に準拠すること。

11 競技方法

(1) トーナメント方式により室蘭支部代表を決定する。

(2) 試合時間は、1回戦から決勝まで70分間(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。勝敗が決しない場合は20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により、次回進出チーム及び優勝校を決定する。

(3) 3位決定戦は行わない。

12 マッチアップアドバイザー

準決勝・決勝において配置する。

13 引率責任者

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申し出に別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

14 参加申込

※ 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込方法

本校ホームページから様式をダウンロードし、必要事項を入力して下記にメール送信すること。また、同一内容を印刷し、職印が押印されたものを顧問会議で提出すること。なお、記載内容については監督が全責任を持つこと。

(2) 送付先 北海道苫小牧工業高等学校 加 藤 隆 英 宛

メールアドレス kato-t@zpost.plala.or.jp

(3) 申込締切期日

令和7年5月7日(水) 16時必着

(4) 選手変更

登録選手の変更は3名以内とし、本校ホームページから様式をダウンロードし、必要事項を入力して下記に送信すること。

<送付先>

北海道苫小牧工業高等学校 加藤 隆英 宛

メールアドレス kato-t@zpost.plala.or.jp

変更申込締切期日 令和7年5月16日(金) 16時必着

また、同一内容を印刷し、職印が押印されたものを大会当日に本部で提出すること
なお、記載内容については監督が全責任を持つこと。

- | | | |
|----|---------|---|
| 15 | 参 加 料 | 選手1名につき500円(高等専門学校は1名につき720円)を顧問会議で納入すること。 |
| 16 | 表 彰 | (1) 優勝以下第3位まで賞状を授与する。優勝校には優勝旗を授与し表彰する。
(2) 優勝以下第2位までの学校には、令和7年6月11日から旭川市で開催される北海道大会への出場資格を与え、出場を義務づける。 |
| 17 | 諸 会 議 | (1) 顧問会議 令和7年5月8日(木) 13時30分から
(2) 表彰式 準決勝終了後および決勝戦終了後 |
| 18 | 宿 泊 申 込 | 各学校で申し込むこととする。当番校より宿泊先の斡旋等を行わない。 |
| 19 | 組合抽選会 | 令和7年5月8日(木) 13時30分に北海道苫小牧工業高等学校会議室において、当番校、専門委員、参加校顧問で公開し実施する。なお、参加校は顧問会議、組合せ抽選会への出席を義務づける。 |
| 20 | そ の 他 | (1) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手全ての行動に対して責任を負うものとする。
(2) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催側で行うが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。
(3) 参加生徒は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
(4) 各参加校の登録部員は、当番校負担軽減のため、競技補助員として大会運営に協力すること。
(5) 不測の事態により、競技に影響がある場合は、専門委員、当番校で競技し決定する。 |